

東京女性映像祭

映像を通して対話のきっかけを

Tokyo Women's Film Festival 2019

～ 家族のカタチ ～

9月28日(土)

渋谷男女平等・ダイバーシティセンターアイリス

渋谷区桜丘町23-21渋谷区総合文化センター8F

プログラム

■10:00-11:40

ドキュメンタリー映画「愛と法」上映

(共催：愛と法1000人上映会プロジェクト)

■11:50-13:00

アフタートーク ひろがる～私の視点で発信すると

ゲスト 堀潤さん × 下村健一さん

■14:00-16:00

ドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします」上映

■16:00-16:30

シェアトーク 家族のカタチ



©Nanmori Films



©「ぼけますから、よろしくお願いします。」製作・配給委員会

■参加費

●「愛と法」アフタートーク付き

【大人】¥1,500 【学生】¥500(学生証をお持ちください)

●「ぼけますから、よろしくお願いします」

【大人】¥1,500 【学生】¥500(学生証をお持ちください)

●1日通し券

【大人】¥2,500 【学生】¥800(学生証をお持ちください)

■定員 90人(先着順)

■申込 peatixからお申込みください ⇒



<https://twff2019.peatix.com>



主催

TWFF

東京ウィメンズフィルムフェスティバル

facebook @tokyowomensfilmfestival

サイト <https://www.twff.info>



TWFFの事務局メンバーは、動画ワークショップ「毎日女性会議」(2014-17)で、女性限定という空間だからこそ生まれた発信や出会いを経験した受講生が中心となっています。

10:00
-11:40



©Nanmori Films

14:00
-16:30



監督：戸田ひかる プロフィール

10歳からオランダで育つ。ユトレヒト大学で社会心理学、ロンドン大学大学院で映像人類学・パフォーマンスアートを学ぶ。10年間ディレクターと編集者としてロンドンを拠点に世界各国で映像を制作。作品はNHK、BBC、ABC、The Guardianなどで放送されたほか、メルボルン国際映画祭など多数の国際映画祭で上映。本作の撮影で22年ぶりに日本で暮らす。現在は大阪在住。

～STORY～

溢れるやさしさとユーモア明日を生きるヒントと勇気。カズとフミは大阪の下町で法律事務所を営む弁護士夫婦(ふうふ)。仕事も生活も二人三脚のふたりのもとは、全国から”困っている人たち”が相談にやってくる。セクシュアル・マイノリティ、養護が必要な子どもたち、戸籍を持っていない人、「君が代不起立」で処分された先生、作品が罪に問われたアーティスト…。それぞれの生き方と社会のしくみとの間で葛藤を抱える人たちだ。ふたり自身も法律上は他人同士のまま。そんなある日、ふたりの家に居候がやってくる。突然居場所を失った少年・カズマくん。三人の新しい生活がはじまった…。

共催：★★愛と法1000人上映会プロジェクトとは★★

ドキュメンタリー映画「愛と法」の鑑賞&ワークショップを通じて、多様なひとびとが自分らしく暮らせる社会を考える場づくりを参加者1000人目指して行っています。主催者は、平日は会社員として働く子育て中のママです。障害を持つ家族やセクシャルマイノリティと呼ばれる友人と身近に接する中で、生まれ持った環境やパーソナリティというどうしようもないことが原因で起こる生きづらさに疑問を持ち、個人でできることとして、プロジェクトを開始しました。映画を通じて多様なひとびとの状況や困難を「知り」、ワークショップで「考え、意識する」ことで少しでもジブンゴトとして感じる場づくりを行いたいと思っています。

11:50
-13:00

アフタートーク ひろがる～私の視点で発信すると

堀潤さん

(NPO法人8bitNews代表理事/株式会社GARDEN代表)

×

下村健一さん

(令和メディア研究所主宰)

×

TWFF

TWFFのアドバイザーでもあるおふたりと「私の視点で発信すること」についてお話しします。TWFFの活動の原点である市民発信のための映像ワークショップ(毎日女性会議、現在は毎日メディアリテラシーラボ)で作られた映像を見ながら、個人の問題が共感を呼び社会の問題としてひろがっていく市民メディアの可能性に触れていただけます。映像で発信してみたい方をはじめ、多くの皆さんにお越しをお待ちしています。

